

平成15年度試験研究成果書

区分	普及	題名	黒毛和種県産種雄牛「金菊徳」の作出（現場後代検定法）				
〔要約〕 平成14年度に現場後代検定を終了した種雄牛のうち、「金菊徳」が優れた成績であった。 15年2月に県有種雄牛として選抜され、凍結精液の供給を開始した。							
キーワード	黒毛和種	現場後代検定法	種雄牛	畜産研究所種山畜産研究室			

1. 背景とねらい

黒毛和種の産肉能力向上を図るため、計画交配、産肉能力検定等により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用を促進し黒毛和種の集団的な育種改良を推進する。

2. 成果の内容

- (1) 産肉性の評価は（社）全国和牛登録協会が定める現場後代検定法により行った。
- (2) 調査牛頭数は19頭（去勢13頭、雌6頭）であり、肉質等級4以上の割合（上物率）は78.9%と極めて優れた。脂肪交雑の育種価（H15.06 評価）は、県内供用中の種雄牛ではトップクラスであった。
- (3) 2月の「いわて和牛改良増殖対策事業」県協議会で県有種雄牛として選抜され、凍結精液を供給しており、今後の利用を促進する。

3. 成果活用上の留意事項

(1) 検定種雄牛の概要

登 録		直接検定			血 統			
名 号	番 号(得点)	生年月日	年度	D G	父	母の父	母祖母の父	産 地
金菊徳	黒原3700(82.4)	H10.7.10	H10	1.35	菊谷	恒 徳	高 庭	金ヶ崎町

(2) 検定期間および検定方法

検定期間：平成13年4月27日～15年1月14日

検定方法：（社）全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定（現場後代検定法）
複数の肥育場（農家等）において種雄候補牛産子15頭以上を慣行法により肥育管理。去勢牛は生後29ヵ月未満、雌牛は生後32ヵ月齢未満で肥育終了
枝肉格付は出荷先の（社）日本食肉格付協会格付員が実施

(4) 交配上のポイントおよび留意事項

枝肉重量の育種価はマイナスであることから大型のものとの交配が望ましい。

4. 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯または対象者等
県下全域 肉用素牛生産農家
- (2) 期待する活用効果等
黒毛和種の改良推進 凍結精液供給本数 3,000本

5. 当該事項に係る試験研究課題

- (235) 黒毛和種産肉能力検定（間接法）

6. 参考文献・資料

- (1)（社）全国和牛登録協会 種雄牛の各種検定法について 2002.7

7. 試験成績の概要

(1) 調査牛頭数 19頭 (去勢13頭、雌6頭)

(2) 検定結果

ア 測定値並びに肉質判定の結果

項 目		平均 ± 標準偏差
頭 数 (頭)		19
枝 肉 重 量 (kg)		395 ± 39
歩 留	コース芯面積 (cm)	55 ± 4
	バラの厚さ (cm)	7.5 ± 0.5
	皮下脂肪の厚さ (cm)	2.1 ± 0.7
	歩留基準値 (%)	74.8 ± 0.9
脂肪交雑基準値(BMS)		1.9 ± 0.6
肉質等級4・5率 (%)		78.9 (15/19)

イ 格付の分布

項 目	1	2	3	4	5	計
A			4	9	6	19
B						
C						
計			4	9	6	19

(3) 産肉性の育種価 (H15.06評価、後代数23)

	枝肉重量	コース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	推定歩留	脂肪交雑
育種価	-11.054	9.497	0.560	-0.204	2.011	2.479
正確度	0.897	0.878	0.858	0.895	0.892	0.911

(4) 脂肪交雑の育種価ランキング (H15.06評価、正確度0.9以上)

順位	名号	登録番号	育種価	正確度	後代数
1	安福165の9	黒原1683	2.735	0.991	278
2	福栄	黒原2886	2.581	0.994	566
3	平茂勝	黒原2441	2.539	0.984	173
4	美津福	黒原2748	2.504	0.994	639
5	金菊徳	黒原3700	2.479	0.911	23